

令和元年度水質事故発生状況

第1四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
										内容
4	24	森戸川(乙)	酒匂堰	大井町		○			不明	和田堰に油が流れているとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、少量の油の浮遊を確認したため、オイルマットを設置した。上流を調査したが原因の特定には至らなかった。翌日、油の浮遊は解消したため、原因不明で対応を終了した。
4	25	相模川(甲)	善明川	厚木市		○			不明	善明川で油浮遊を確認したとの通報を受け、市が現地確認を行ったところ、薄い油膜を確認したため、オイルマットを設置した。その後、油膜の河川への影響が解消されたため、原因不明で対応を終了した。
4	26	相模川(甲)		海老名市		○			不明	水道事業者より取水口付近に油膜や油臭があり、消臭処理と油の拡散防止対策を実施したとの連絡を受け、県と市が現地確認を行ったが、現地周辺の河川や水路で油膜や油臭は確認されなかった。河川に油膜や油臭がなく、発生場所の対応処置が施されたため、原因不明で対応を終了した。
5	6	引地川(乙)	蓼川	綾瀬市		○			不法投棄	比留川と蓼川の合流場所付近で油が流れていると通報があり、市が現地確認を行ったところ、油の浮遊を確認した。付近の調査にて投棄されたオイル缶を発見し、市が回収した。その後、新たな油浮遊が確認されないため、対応を終了した。
5	28	相模川(乙)	小出川	寒川町		○			交通事故	交通事故車両から軽油が流出したと通報があり、町が現地確認を行ったところ、側溝と水路に油が流出していたが、河川には流出していないことを確認した。側溝に土嚢を、水路にオイルマットを設置し、側溝へ流出した油はバキュームにより回収した。油の発生源が撤去され、油の回収も完了したため、対応を終了した。
5	30	相模川(乙)		寒川町		○			事業者	県道脇の集水ますに油浮遊があると通報があり、県と町が現地確認を行ったところ、集水ますにおいて油浮遊を確認したので、オイルマットにて油の回収を行った。道路上の油の痕跡から付近事業所に立入調査を行ったところ、車両から漏れた油が道路及び側溝へ流出したことが判明した。このため側溝にオイルマットを設置するとともに、流出した油の跡の清掃を指示した。その後、町が清掃状況の確認及びオイルマットの回収を行い、対応を終了した。
6	20	相模川(甲)	玉川	厚木市		○			交通事故	玉川に軽自動車が転落したとの通報があり、市が現地確認を行った。事故車両は河川より引き上げられたが、河川へ油の流出を確認したので、オイルマットを設置した。なお、事故現場下流での河川の油浮遊は確認されなかった。その後、事故車両が撤去され、河川への影響が確認されなくなったので、対応を終了した。
6	23	葛川(乙)		二宮町		○			不明	葛川にて油浮遊があると通報があり、町が現場確認を行ったところ、少量の油の滞留を確認したが、下流への影響は確認されなかった。新たな油浮遊が認められないので、原因者不明で対応を終了した。
6	25	酒匂川(甲)	四十八瀬川	秦野市		○			交通事故	自動車の自損事故が発生し、車両より燃料油が漏出したとの通報があり、県、市及び水道事業者が現地確認を行ったところ、油の流出は道路上及び一部側溝の蓋まで達しているが、側溝内や河川へ流出のないことを確認した。側溝内にオイルマットを設置するとともに、原因者に道路上及び側溝の油の回収・清掃を指示した。その後、油流出の発生源の撤去及び油回収、清掃が実施されたので、対応を完了した。

第2四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
										内容
7	5	金目川(甲)	水無川	秦野市		○			不明	水無川に水路から油が流出しているとの連絡があり、市及び県が現場確認を行ったところ、ガソリン臭がする油の流出を確認したため、オイルマットを設置した。併せて周辺事業所を調査したが、原因は特定できなかった。その後、油の新たな流入がなくなったため、オイルマットを回収し、原因不明で対応を終了した。
7	5	金目川(甲)	鈴川	平塚市		○			不明	水路に油が流れているとの通報があり、市が現場確認を行ったところ、上流部で合流する側溝の柵に油溜まりを確認したため、オイルマットを設置した。付近事業者を調査したが、原因の特定には至らず、現場状況から不法投棄と推定された。その後新たな油の流出がなく、河川への影響がないことを確認したため、対応を終了した。
7	6	滑川(乙)		鎌倉市		○			不明	滑川に油浮遊があり、オイルフェンスを設置したと市消防から市環境保全課に連絡があり、現地確認を行った。河口付近と海岸入口に設置したオイルフェンス付近で油膜が確認されたため、オイルマットで油の回収作業を行った。魚斃死もなく、オイルマットにより油を回収し、油の浮遊もないことが確認されたため、原因不明で対応を終了した。
7	9	境川(乙)		藤沢市		○			不明	境川に油が流れているとの通報があり、県、市及び海上保安庁が現地確認を行ったところ、油浮遊を確認したため、オイルマット等を設置した。周辺を調査したが、原因の特定には至らなかった。その後、新たな油浮遊は確認されなくなったため、設置したオイルマット等を回収し、原因不明で対応を終了した。
7	9	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市		○			不明	道路脇の水路に油浮遊があるとの通報があり、市及び水道事業者が現地調査を行ったところ、油浮遊を確認した。通報場所の上流及び下流の調査を実施したが、油浮遊は確認されなかった。その後、新たな油浮遊は確認されず、河川への影響がないため、原因不明で対応を終了した。
7	12	境川(乙)		藤沢市		○			不明	境川に油が流入しているとの通報があり、県及び藤沢市が現地確認を行ったところ、横浜市泉区側の排水口からの油の流入を確認し、オイルマットを設置した。横浜市が現地確認を行い、排水口上流の街渠柵に油溜まりを確認したため、オイルマットを設置した。その後、油の流入がなくなったため、オイルマットを回収し、原因不明で対応を終了した。
7	18	相模川(乙)	目久尻川	綾瀬市		○			不明	目久尻川に油浮遊があるとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、油浮遊を確認したため、オイルマットを設置した。通報地点上流の調査を行ったが、流入路や原因は特定できなかった。その後、新たな油浮遊が確認されなくなったため、オイルマットを回収し、原因不明で対応を終了した。
7	22	境川(乙)		藤沢市		○			不明	境川にて油浮遊があるとの連絡があり、県、市及び海上保安庁が現地確認をおこなったところ、少量の油浮遊を確認した。県、市及び海上保安庁が上流の調査を実施したが、原因特定には至らなかった。その後、新たな油浮遊は確認されなくなったため、原因不明で対応を終了した。
7	22	金目川(乙)	渋田川	平塚市		○			不法投棄	水路で油浮遊があるとの通報があり、市が現地確認を行ったところ、通報場所に油浮遊が認められた。上流の調査を行い、内部に少量の灯油の入ったポリタンクが道路上に投棄されていたため回収した。また、投棄場所の下流に油膜を確認したため、オイルマットを設置した。その後、油膜が確認されなくなったため、オイルマットを回収し、対応を終了した。
7	26	金目川(甲)	水無川	秦野市		○			交通事故	トラックから灯油の入った容器が落下し、側溝に灯油が流出したとの連絡があり、市が現地確認を行った。灯油は道路及び側溝に流出したが、市消防により吸着材で回収された。側溝への流出は極微量かつ側溝は乾いていたため、周辺河川への流出の恐れはなく、灯油容器及び流出油の回収が完了し、新たな油の流出もなくなったため、対応を終了した。

7	28	引地川(乙)		藤沢市		○			交通事故	車が川に転落し、ガソリンが流出しているとの連絡があった。市が現場確認を行ったところ、転落した軽自動車から川へガソリンが流出していることを確認したため、オイルマットを設置した。車両が撤去され、河川への影響がなくなったため、オイルマットを回収し、対応を終了した。
7	29	酒匂川(甲)		松田町		○			不明	用水路に油が流入しているとの通報があり、県、町及び水道事業者が現場確認を行ったところ、水路への継続した油の流入を確認したため、オイルマットを設置した。町が水路の清掃及び水路の調査を行ったが、原因の特定には至らなかった。清掃後油の流入が止まり、油膜もなくなり、河川への影響がないことが確認されたため、オイルマットを回収し、原因不明で対応を終了した。
8	28	金目川(乙)	大根川	秦野市		○			交通事故	車両の自損事故が発生し、油が流出しているとの通報があった。市が現地確認を行い、現地の道路路面と側溝に油膜を確認した。路面の油は市消防が吸着剤で回収し、市は側溝にオイルマットを設置した。その後、事故車両が撤去され、現場に油浮遊もなくなったため、オイルマットを回収し、対応を終了した。
9	11	境川(乙)		藤沢市		○			事業者	ビニールハウスで使用している重油が漏れ、境川に流出したとの通報があったため、県及び市が現地確認を行った。市は本川及び本川に流入する水路等に油浮遊を確認したため、オイルマットを設置した。市が付近の状況を確認したところ、ビニールハウス横の水田に油が多量に浮遊していたため、回収作業を実施した。その後、水路への新たな油の流出がなくなったことから、対応を終了した。
9	11	金目川(乙)	新川	伊勢原市 平塚市		○			不明	伊勢原市から平塚市にかけて油が浮遊しているとの連絡があり、平塚市及び伊勢原市が現地確認を行ったが、原因究明に至らなかった。平塚市がオイルマットを設置し、油の回収処置を行った。その後、新たな油の流入・浮遊が認められなくなったことから、オイルマットを回収し、原因不明で対応を終了した。
9	13	森戸川(乙)	酒匂川 壱 /	大井町		○			交通事故	交通事故が発生し、車両からエンジンオイルが流出したとの通報があり、町が現地確認を行ったところ、道路側溝へ流出したオイルを確認したため、側溝内にオイルマットを設置するとともに、下流への流出のないことを確認した。その後、新たな油の流出がなくなり、油膜も確認されなくなったことから、オイルマットを回収し、対応を終了した。
9	17	葛川(乙)		大磯町		○			不明	葛川に油が浮遊していることを県が発見した。河川への流入口から油が流入していることを確認したが、流入口の上流は暗渠のため、原因は特定できなかった。県がオイルマットを設置し、その後、河川に油膜は確認されなくなった。新たな油の流入もなくなったことから、原因不明で対応を終了した。
9	18	相模川(乙)		平塚市		○			不明	道路上に油膜があるとの通報があり、市が現地確認を行い、道路上及び側溝に流出した油を確認した。流出した油はオイルマットに吸着して回収した。流出した油の回収が完了し、更なる油流出も認められないことから、原因不明で対応を終了した。

第3四半期発生状況

発生月日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他内容		
10	12	早川(甲)	蛇骨川	箱根町		○		事業者から県に、台風により電柱が倒れ、電柱に据え付けの変圧器から絶縁油が流出したとの連絡があった。事業者からは、流出した油にはPCBは含まれておらず、また濁流により流されたため回収不能であるとの報告があった。発生源での油の回収が不可能であることから、本件の対応を終了した。	
10	12	酒匂川(甲)	狩川	南足柄市		○		事業者から市及び県に、台風により電柱が倒れ、電柱に据え付けの変圧器から絶縁油が河川に流出した可能性があるとの連絡があった。事業者からは、流出した油にはPCBは含まれておらず、また土砂崩れのため河川への流出は直接確認できていないとの報告があった。新たな油の流出はないことから、本件の対応を終了した。	

10	13	山王川(乙)	坊所川	小田原市		○			交通事故	市消防本部から県に、交通事故が発生し、横転した車両から燃料(油)が道路側溝に流出したとの連絡があった。市が現地確認を行ったところ、河川への油の流出は確認できなかった。現場対応が終了し、新たな油の流出がないことから、本件の対応を終了した。
11	4	酒匂川(甲)	四十八瀬川	秦野市		○			交通事故	「秦野インターチェンジ付近でトラックが道路側溝のグレーチングを踏んで跳ね上げ、燃料タンクが破損し、軽油が約150リットル流出した。」と市から県に連絡があった。市が現場確認したところ、油の大部分は道路上に流出しており、道路側溝に流出したものはほぼ確認できなかった。原因者が道路上の油をおがくずにより回収し、道路側溝内は高圧洗浄を実施した。発生源が撤去され、流出した油の清掃が完了したことから本件の対応を終了した。
11	6	山王川(乙)		小田原市		○			不明	「市民から芦子橋付近で油が浮いているとの通報があった。」と小田原警察から県に連絡が入った。小田原警察には前日(5日)夕方にも同様の通報があり、市と合同で現地調査を行ったところ、発生源は特定できなかったが、付近の用水路から河川への油の流出を確認したため、市がオイルマットを2カ所に設置した。また、6日に小田原警察及び市が改めて現場を確認したところ、油膜は認められず、前日の油流出で壁面などに付着していた油が流れたものと推測された。新たな油流出が見られないことから、本件の対応を終了した。
11	7	境川(乙)	白旗川	藤沢市		○			交通事故	「トラックが単独事故を起こし、軽油が流出している」と市から県に連絡が入った。市が現場確認を行ったところ、道路上に軽油が流出しており、市消防により吸着材による回収作業が行われていた。また、白旗川へ軽油の流入が認められたため、白旗川1号橋等2カ所にオイルマットを設置した。翌日、市が改めて現地確認を行ったところ、白旗川及び境川で油浮遊は認められなかったため、オイルマットを回収し、本件の対応を終了した。
11	25	酒匂川(甲)	鮎沢川	静岡県 御殿場市		○			交通事故	「国道138号線で交通事故が発生し、燃料(軽油)が最大400リットル漏洩した。御殿場市消防が流出した油の一部を回収したが、一定量が付近の農業用水路に流入した。」と静岡県沼津土木事務所から県に連絡が入った。沼津土木事務所が現地確認を行ったが既に油の流出は止まっており、付近の河川でも油膜は確認できなかった。農業用水路は最終的に酒匂川に流入するため、水道事業者が上流の鮎沢川を確認したが、油膜は確認できなかった。新たな流出や被害の拡大が見られないことから、本件の対応を終了した。
11	27	金目川(甲)		秦野市		○			不明	「東名大槻橋の道路上及び平塚秦野線の路面上に油が流出している。」と県民から市に通報が入った。市が現場確認したところ、東名大槻橋、平塚秦野線の側溝に油を確認したため、市消防が路面の油を回収し、市が側溝にオイルマットを設置した。また、市及び県が下流の金目川を確認したが、油浮遊は確認できなかった。後日、市が改めて現場確認したところ油浮遊等は確認できなかったため、オイルマットを回収し、本件の対応を終了した。
11	28	相模川(甲)	永池川	海老名市		○			不明	「事業者から永池川で油を発見したと通報が入った。」と市から県に連絡があった。市が現場確認したところ油は確認できず、下流も調査したが発見できなかった。また、県から水道事業者に連絡を行い、水道事業者も現場を確認したが油は確認できなかった。油浮遊は確認できないため、一過性の事故として、本件の対応を終了した。
11	28	酒匂川(甲)		小田原市 大井町		○			交通事故	「鬼柳入口交差点付近で交通事故が発生し、エンジンオイルが付近の道路側溝に流出した。」と小田原市消防から県に連絡が入った。大井町及び小田原市が現場確認したところ、市消防が油吸着措置を行ったが、道路上に一部残っていたため、オイルマットを設置した。また、付近の側溝及び水路にて多少の油膜が見られたが、酒匂川本川に大きな影響は確認できなかった。水道事業者も現場確認へ向かい、事故現場下流の水路で臭気測定を行ったが、油臭は確認できなかった。その後、レッカー車が事故車両を撤去し、新たな油の流出はないことから、本件の対応を終了した。

12	10	引地川(乙)	比留川	綾瀬市		○		事業者	県民から市に「比留川へつながる排水口付近で油臭がする」と通報があった。市の現場確認の結果、油浮遊を確認したため、オイルマットを設置した。周辺調査の結果、付近の事業者が廃油を側溝に流したことを確認したため、事業者へ原因究明・対策を指導した。側溝の清掃後に、排水処理装置を稼働させたところ、再び事業所の排水口から油が流出していることを確認したため、県及び市は排水処理施設の停止と雨水管等の清掃を再度指導した。事業者がバキュームによる雨水管等の洗浄を実施したことにより新たな油流出が確認されなくなったため、オイルマットを回収し、本件の対応を終了した。
12	10	森戸川(乙)	関口川	小田原市		○		不明	小田原市消防から県及び市に「第二森戸橋で油が流れている」と連絡があり、市が現場確認したところ油浮遊を認めため、オイルマットを設置した。油は関口川から流入していたが、原因の特定には至らなかった。また、夕方頃には油の流入が止まっていたため、市は設置したオイルマットを回収し、本件の対応を終了した。
12	25	引地川(乙)		藤沢市		○		不明	県民から市に「高名橋付近で油が流れている」と連絡があった。市が現場確認したところ、現場上流から油の流入を確認したため、オイルマットを設置した。上流からの油流入は徐々に減少し、市が上流を原因調査側の状況を確認したが特定には至らなかった。後日河川に油膜が確認できなくなったことから、市が設置したオイルマットを回収し、本件の対応を終了した。

第4四半期発生状況

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因	事故の概要	
月	日				魚死亡	油浮遊	その他			
							内容			
1	7	境川(乙)		藤沢市		○		不明	県民から市に「弁天橋の右岸上流から油が流れている」と通報があった。市が現地確認を行ったところ、上流に油浮遊を確認し、原因調査したが特定には至らなかった。翌日以降も現場確認し、新たな油の流入及び油浮遊が確認できなかったため、対応を終了した。	
1	23	相模川(甲)	釜坂川 / 永池川	海老名市 寒川町		○		不明	市から県に「釜坂橋付近で油流出を発見したと通報が入った」と連絡があった。市及び水道事業者が現場確認したところ、油膜・油臭を確認したためオイルフェンスを設置した。原因調査の結果、海老名サービスエリアの路面等に油を確認したが、原因の特定には至らなかった。相模川への流出防止対策として、海老名市及び寒川町が下流の永池川にもオイルマットを設置し、道路事業者もサービスエリアの排水口にオイルマットを設置した。後日改めて現場確認したところ、河川に油膜・油臭が確認できなくなったことからオイルフェンス等を回収し、対応を終了した。	
1	23	相模川(乙)	目久尻川	綾瀬市 藤沢市		○		不明	綾瀬市消防から綾瀬市環境保全課に「目久尻川に接した水路から油が流出している」と連絡があった。綾瀬市の現場確認の結果、道路上に油がまかれた跡を確認したため、吸着剤を散布した。また、河川にオイルマットを設置し、原因調査を実施したが特定には至らなかった。本件について藤沢市消防から藤沢市環境保全課にも連絡があったため、藤沢市が現場確認したところ油膜がないことを確認した。その後、綾瀬市が改めて現場確認し結果、河川に油膜が確認できなかったことからオイルマットを回収し、対応を終了した。	
2	16	相模川(甲)	永池川	海老名市 寒川町		○		事業者	「永池川の大和橋付近で油浮遊に係る水質事故の連絡があり、海老名市及び寒川町が河川にオイルマット等を設置して対応している。」と寒川町から県に連絡があった。海老名市の現地確認の結果、付近の事業所内に溜まった油が側溝に流出したことが原因であると確認したため、事業者へ側溝等の清掃を指導した。後日、河川及び水路を確認したところ、油膜等が確認できなくなったことから、オイルマット等を回収し、本件の対応を終了した。	
2	18	金目川(乙)	渋田川	伊勢原市		○		不明	「渋田川で軽油のような油臭がし、油が浮遊している。」と工事業者から市に通報があり、市の現地確認をしたところ河川に油膜があることを確認したため、オイルマットを設置した。後日、改めて市が現場を見たところ、河川に油膜が確認できなくなったことから、オイルマットを回収し、本件の対応を終了した。	

2	25	境川（乙）		藤沢市		○			不明	「パトロールを行っていたところ、境川橋付近で油浮遊を確認した。」と県土木事務所から県環境保全課に連絡があった。県と市が現地確認したところ、河川に油浮遊を確認し、原因調査を行ったが特定には至らなかった。河川は広く、オイルマット等が設置できないため、油の流入地点に通じるマンホールの中に市がオイルマットを設置した。後日、改めて現地確認したところ、油浮遊が認められなかったため、オイルマットを回収し、対応を終了した。
---	----	-------	--	-----	--	---	--	--	----	---